



東北生活文化大学
東北生活文化大学短期大学部

TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE

令和6年度 [要覧]

地域の未来を、
共に創る

6号館

短期部

・ 本学が伝統的に重視している、きめ細かな少人数教育を通して、自律性を持って行動する知恵と実践力を備えた人間性豊かな人を育成します。

・ 教養と専門の教育を通して、

・ 学生生活と社会生活を豊かにする倫理観・教養力・論理的思考力・コミュニケーション力を育みます。

・ 多様な実験・実習・演習で構成する実践的教育を通して、

生活と文化に関する専門的素養と技能を身につけ、社会の中核として活動できる人を育成します。

・ 学生・教職員・地域住民との交流と「ワクワクぷろじえくと」での活動により、創造性を持って地域社会を豊かにできる人を育成します。

目次

▶学長挨拶	1
▶三島学園の教育組織 ▶入学定員 ▶専任教員数	2
▶キャンパスカレンダー	3
▶東北生活文化大学(教育研究上の目的・基本組織等)	4
▶東北生活文化大学 家政学部 家政学科 服飾文化専攻	5
▶東北生活文化大学 家政学部 家政学科 健康栄養学専攻	6
▶東北生活文化大学 美術学部 美術表現学科	7
▶東北生活文化大学 家政学部 家政学科 3つのポリシー	8
▶東北生活文化大学 美術学部 美術表現学科 3つのポリシー	11
▶東北生活文化大学短期大学部 (教育研究上の目的・基本組織等)	14
▶東北生活文化大学短期大学部 生活文化学科 食物栄養学専攻	15
▶東北生活文化大学短期大学部 生活文化学科 子ども生活専攻	16
▶東北生活文化大学短期大学部 生活文化学科 3つのポリシー	17
▶沿革	20
▶歴代学長 ▶キャンパス・施設	21
▶社会貢献活動	22
▶大学基本データ	23
▶短大基本データ	24



建学の精神

高い知識と技術ぎりようを修め、
常に文化創造に寄与する、
清く、正しく、健やかな人間の育成を目指す

校訓

励はげみ、謹つつしみ、慈いつくしみ

基本理念

美しい人間生活の在り方を総合的見地から科学的に考え、
解決していくことのできる確かな実践力を備える人材の教育に当たる



東北生活文化大学
東北生活文化大学短期大学部

学長 佐藤 一郎



三島学園は、本年 2024（令和 6）10 月 27 日に、創立 124 周年を迎え、ホップ・ステップ・ジャンプと力強く進んでいきたいと望んでいます。1900（明治 33）年、本学園は、三島駒治、よしご夫妻によって設立され、現在、東北生活文化大学、同大学短期大学部、東北生活文化大学高等学校、ますみ幼稚園、ますみ保育園を、擁する学園となっております。

三島ご夫妻が青雲の志を持ち、上京したおりに、福沢諭吉の『学問のすゝめ』に鼓舞されていたにちがいありません。その冒頭で、「されば天より人を生ずるには、万人は万人皆同じ位にして、生まれながら貴賤上下の差別なく、万物霊のたる身と心との働きを持って、天地の間にある万のもの物を資り、もって衣食住のようを達し、自由自在、互いに人の妨げをなさずして、おのおの安楽にこの世を渡らしめたまうふの趣意なり。」続けて、「もっぱら勤べきは、人間普通日用に近き実学なり」と主張しています。

明治期の西洋列強の「グローバルな地球社会」の一員となるべく、日本の近代化を担い、衣食住という「生活」と「文化」を基本に据え、三島学園は「実学」という現実の社会を生き抜くための教育機関として出発しました。そこには、実践、実験、実習、実技を重ね、実証していくというサイエンスとしての姿勢、すなわち福沢諭吉のいう実学も貫いてきました。

第二次世界大戦後、日本国憲法が公布され、学問の自由が保障され（第 23 条）、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」（第 25 条）として生存権が認められ、さらに「すべての国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ。」（第 27 条）ことになりました。

大学名「東北生活文化大学」は、日本国憲法に謳われている「文化的な最低限度の生活」から引用されているともいえるでしょう。現在、本学では、このように「学問のすゝめ」から「日本国憲法」に引き継がれた、「実学」の伝統が現代に息づいています。

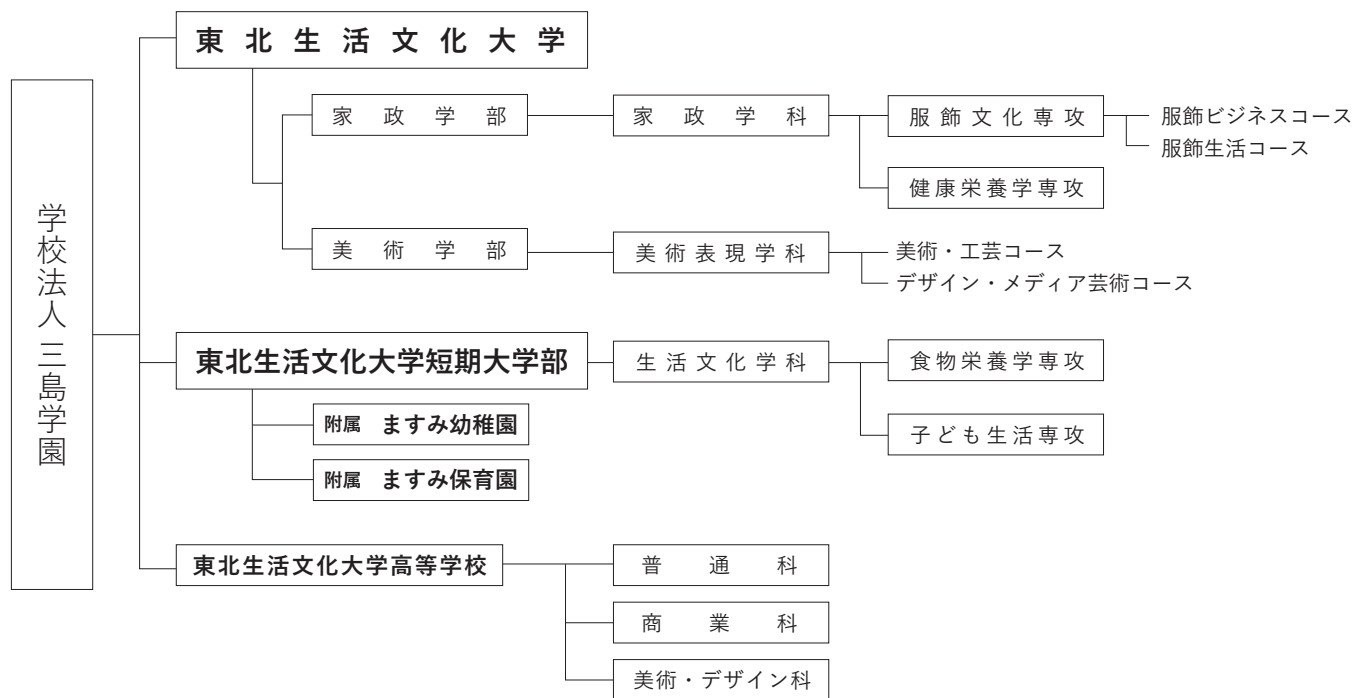
東北生活文化大学家政学部では、服飾文化専攻と健康栄養学専攻、美術学部では美術表現学科があり、同大学短期大学部には、食物栄養学専攻と子ども生活専攻があります。東北、さらには日本全国を見渡しても、これら「生活と文化」を総合的に教育研究する唯一無二の大学および短期大学部となっております。

東北という「ローカルな地域社会」を見据え、リアルタイム、インタラクティブに学ぶ「グローバルな地球社会」に対応する ICT（情報通信技術）、AI（人工知能）環境を整え、学生一人ひとりが「自らの進むべき道」を見極め、互いに支え合って、その生きるエネルギーを勉学に集中できる教育環境を整えていきます。

保育士、幼稚園教諭、情報処理士、衣料管理士、栄養士、管理栄養士、さらに、美術科教員、家庭科教員、栄養教諭などを目指す学生も着実に増え、教員採用試験に合格する 4 年生も増加しています。それぞれの多様なニーズを求める意欲が高まってきているからだと感じております。さまざまな学生の多様性を尊重し、応援しながら、学生それぞれの個性を尊重し、協力し合いながら、学生の力で有意義な大学生活を作り上げてほしいと、われわれは願っております。新入生ウエルカムパーティー、体育祭、七夕祭り、大学祭、クリスマスパーティなど、学生主体の催し物も例年になく活気が出てきております。服飾文化専攻の学生たちを中心とした自主的な運営によるファッションショーも好評を博し、一般の方々にも公開しています。

少子化、高齢化の進展によって、社会生活と家庭生活をハイブリットに兼ね合わせる時代になってきております。子育て期間であっても、保育所や幼稚園、あるいは子ども園に通う時代になりました。例えば、保育士の需要は今後ますます増加の一途をたどります。時代の急激な変化に合わせて、積極的に子育て社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善する資質を有する人材、すなわち「21 世紀型市民」を多く誕生させる大学教育を誠実に進めていきたいと思っております。どのような職種であっても、一様ではなく、むしろ、それぞれが異なる強みや個性を持った多様な人間が組み合った社会生活が求められています。

卒業後、大学での実践、実験、実習、実技の経験を生かし、自らの文化を育て、幸福な生活を目指し、サステナブル（持続可能）な社会の一員として「ローカルな地域社会」に貢献し、活躍することを願っております。



定員

▶東北生活文化大学

学部・学科・専攻		入学定員	3年次編入学定員	収容定員
家政学部	家政学科	58	2	236
	服飾文化専攻	18	—	72
	健康栄養学専攻	40	2	164
美術学部	美術表現学科	50	—	200
計		108	2	436

▶東北生活文化大学短期大学部

学科・専攻	入学定員	収容定員
生活文化学科	100	200
食物栄養学専攻	40	80
子ども生活専攻	60	120

専任教員数（令和6年5月1日現在）

▶東北生活文化大学

学部		教授	准教授	講師	助教	助手	計
家政学部	男	6	0	3	0	2	11
	女	2	2	6	0	3	13
	計	8	2	9	0	5	24
美術学部	男	5	0	2	0	0	7
	女	1	2	1	0	0	4
	計	6	2	3	0	0	11
計	男	11	0	5	0	2	18
	女	3	4	7	0	3	17
	計	14	4	12	0	5	35

※専任教員の数は、法令上必要な数を充足している。

事務職員	19
副手	7
その他	1
非常勤講師	56

▶東北生活文化大学短期大学部

学科		教授	准教授	講師	助教	助手	計
生活文化学科	男	2	3	1	0	0	6
	女	3	2	2	1	2	10
	計	5	5	3	1	2	16

※専任教員の数は、法令上必要な数を充足している。

事務職員	7
副手	1
その他	1
非常勤講師	23

4月

入学式
ガイダンス
大学・短大オリエンテーション
健康診断
前期授業開始
履修登録締切
避難訓練／学友会総会／交通安全講習会
奨学金採用説明会
教員採用試験申込説明会

5月

美術特別講義Ⅰ（1年次研修旅行）
子ども生活専攻2年保育所実習Ⅰ

6月

後援会総会・役員会
体育祭
オープンキャンパス
子ども生活専攻2年保育所実習Ⅱ
食生活アドバイザー検定

7月

第1回進路状況調査
オープンキャンパス
子ども生活専攻2年施設実習
宮城県・仙台市教員採用一次試験
服飾文化専攻作品展

8月

前期授業終了
集中講義
夏季休業開始
追再試験時間割発表
追再試験
服飾文化専攻ファッションカレッジ
オープンキャンパス
子ども生活専攻2年補講
学園一斉休業
宮城県・仙台市教員採用試験一次結果発表
登録販売者試験
美術表現学科高校生のためのデッサンセミナー

9月

夏季休業終了
後期授業開始
後期履修確認変更締切
博物館見学実習
服飾文化専攻2年研修旅行
健康栄養学専攻2年見学研修
美術観賞研修旅行
オープンキャンパス
宮城県・仙台市教員採用二次試験
公務員試験対策講座

10月

大学祭／美術表現学科内コンクール
創立記念日
子ども生活専攻2年幼稚園実習
オープンキャンパス
宮城県・仙台市教員採用二次試験結果発表

11月

講師登録説明会
服飾文化専攻消費者力検定
第2回進路状況調査
奨学金返還説明会
食生活アドバイザー検定

12月

服飾文化専攻専門研究Ⅱ・健康栄養学専攻課題研究発表会
大学生生活スタート＆保護者説明会
集中講義
冬季休業開始
健康栄養学専攻 栄養士実力認定試験
食物栄養学専攻 栄養士実力認定試験
ピアヘルパー認定試験
オープンキャンパス
学園一斉休業
奨学金継続説明会
衣料管理士試験

1月

冬季休業終了
授業開始
大学生生活スタート＆保護者説明会
後期授業終了
服飾文化専攻専門研究Ⅰ発表会

2月

卒業学年追再試験時間割発表
卒業学年追再試験
在学年追再試験時間割発表
美術学部美術表現学科卒業制作展
ファッションショー外部公演
公務員試験対策講座
就活直前対策セミナー

3月

在学年追再試験
春季休業開始
同窓会入会式
卒業証書・学位記授与式／大家課題研究展
服飾文化専攻ファッションカレッジ
管理栄養士国家試験
第3回進路状況調査
1,2年生のためのオープンキャンパス
美術表現学科高大連携高校1・2年生のためのデッサンセミナー

教育研究上の目的・基本組織

建学の精神に基づいて、我が国の生活文化の向上を図るため、学術の中心として、幅広い教養を授けるとともに、深く生活と文化に関する専門の学芸を教授研究し、知的、道德的及び応用的能力を展開させ、社会に貢献する人間性豊かな人材を育成することを目的とし、使命とする。

▶家政学部

家政学部は、広く教養を培い、生活文化形成の要素としての家政学について、実際の生活様式という視点から深く学習し、その向上を目指して探求することを教学の指針とする。

家政学科

家政学科は、本学の伝統的な家政学の修学を基本とし、その科学的追求と実験、実習を通して、生活科学への探究心を備えた人材を育成することを目的とする。

【服飾文化専攻】

服飾文化専攻は、服飾と生活に関して科学と文化の両面から追求し、服飾産業の発展と生活文化の向上に寄与する人材を養成することを目的とする。

【健康栄養学専攻】

健康栄養学専攻は、栄養士と管理栄養士の養成を目的とした教育課程により、医療、福祉、保健分野等において、食生活の面から健康を守る人材を養成することを目的とする。

▶美術学部

美術学部は、幅広い教養と、美術の高度な専門知識と技能を身に付け、実学として地域社会の発展に貢献できる人間性豊かな人材を養成することを教学の指針とする。

美術表現学科

美術表現学科は、美術、工芸、デザイン、メディア芸術領域における高度な専門知識と技能を身に付け、これらの知識・技能を地域社会における様々な職業分野で発揮し、地域の産業、文化の発展に貢献できる能力を養成することを目的とする。

大学共通教養科目

▶人間と自然科学

化学Ⅰ／化学Ⅱ／有機化学Ⅰ／有機化学Ⅱ／生物学Ⅰ／生物学Ⅱ／環境学／統計学／数学

▶人間と社会

経済学／社会学Ⅰ／社会学Ⅱ／歴史Ⅰ／歴史Ⅱ／日本国憲法／法学概説

▶人間と文化

哲学Ⅰ／哲学Ⅱ／心理学Ⅰ／心理学Ⅱ／美術／生活文化論

▶言語とコミュニケーション

英語Ⅰ／英語Ⅱ／英会話Ⅰ／英会話Ⅱ／仏語Ⅰ／仏語Ⅱ／中国語／日本語基礎／国語表現法／情報基礎学

▶健康とスポーツ

スポーツ／スポーツと食事

▶キャリア形成

スタディスキルズ／ライフデザイン／キャリア開発Ⅰ／キャリア開発Ⅱ／キャリア開発Ⅲ／キャリア開発Ⅳ／キャリアサポートⅠ／キャリアサポートⅡ

家政学部基幹科目

家政学原論／家族関係学／家庭経営学（家庭経済学を含む。）

教育の基礎的理解に関する科目等

教育原理／教職概論／教育制度論／教育心理学／特別支援教育／教育課程論／道德教育の指導法／特別活動及び総合的な学習の時間の指導法／教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）／生徒指導の理論と方法 A（進路指導の理論及び方法を含む。）／生徒指導の理論と方法 B／教育相談／教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）／教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）／栄養教育実習事前事後指導／栄養教育実習／教職実践演習（中・高）／教職実践演習（栄養教諭）／家庭科教育法Ⅰ／家庭科教育法Ⅱ／美術科教育法Ⅰ／美術科教育法Ⅱ／工芸科教育法

博物館に関する科目

生涯学習概論／博物館概論／博物館経営論／博物館資料論／博物館資料保存論／博物館展示論／博物館情報・メディア論／博物館教育論／博物館実習Ⅰ（学内・見学実習を含む。）／博物館実習Ⅱ（館園実習）（事前・事後指導を含む。）／歴史Ⅰ／歴史Ⅱ／生活文化論／美術史Ⅰ／美術史Ⅱ／化学Ⅰ／生物学Ⅰ

衣生活を広い視野で理解し
服飾産業で活躍する専門家を目指す



▶専任教員

植松 公威【教授／教授学習心理学】

菅野 修一【教授／高分子合成、ラジカル重合開始剤、イオン液体】

川又 勝子【准教授／被服（染色学、被服造形学）】（服飾文化専攻主任）

伊豆田友美【講師／染色・整理、被服材料】

何 水蘭【講師／ファッションデザイン】

菊地 紗代【講師／被服造形学】

永田 和寛【講師／教育学・教育史】

水谷 浩【講師／消費者商品学、福祉情報学】

《取得資格一覧》

卒業と同時に取得できる資格

▼ 所定の単位数を修得することで卒業と同時に取得

- 高等学校教諭一種免許状〔家庭〕
- 中学校教諭一種免許状〔家庭〕
- 学芸員
- 衣料管理士〔TA〕2級

▼ 明星大学通信教育部と教育業務提携

- 小学校教諭二種免許状

▼ その他取得可能な免許・資格

- 社会福祉主事任用資格

挑戦できる主な資格

- 消費者力検定
- A・F・T色彩能力検定（2級・3級）
- ファッション販売能力検定
- きもの文化検定

※これらの資格は、「服飾ビジネスコース」、
「服飾生活コース」、いずれも取得可能です。

家政学科服飾文化専攻専門科目

▶生活文化

消費生活論／社会福祉論／地域文化論／美術史Ⅰ／美術史Ⅱ

▶服飾文化

被服学／色彩学／日本服装史／西洋文化史／染織文化史／染織文化演習

▶被服企画・造形

被服機構・衛生学／スタートアップソーイング／アパレル製図法Ⅰ（平面）／アパレル製図法Ⅱ（応用）／被服造形実習Ⅰ／被服造形実習Ⅱ／被服造形実習Ⅲ／被服平面造形学／被服平面造形実習Ⅰ／被服平面造形実習Ⅱ／ファッションデザイン／ファッションデザイン画／ファッションデザイン演習／アパレル設計論／アパレル生産実習／アパレルCADⅠ／アパレルCADⅡ／服飾工芸・造形（服飾手芸）Ⅰ／服飾工芸・造形（服飾手芸）Ⅱ／服飾工芸・造形（織物）Ⅲ

▶被服材料・加工・整理

被服繊維学／被服繊維学実験／被服材料学／被服材料学実験／被服整理学／被服整理学実験／染色加工学／染色加工学実験／染色学実習／テキスタイルデザインⅠ／テキスタイルデザインⅡ

▶流通・消費・情報

ファッションビジネス論／アパレル品質管理論／アパレル消費科学／消費者調査法／ファッション販売論／コーディネート論／ファッションビジネス実務実習／マーケティング論／起業・会社経営論／店舗運営論／情報処理Ⅰ／情報処理Ⅱ

▶関連科目

食品学総論／食品学各論／基礎栄養学／基礎調理学実習Ⅰ／基礎調理学実習Ⅱ／食文化論／食生活論／住居学／住居デザイン／住文化論／保育学／暮らしとお金／家庭科教材研究

▶家政特別講義Ⅰ／家政特別講義Ⅱ／家政特別演習（研修旅行）／服飾ビジネス特別演習／服飾生活特別演習／専門研究Ⅰ／専門研究Ⅱ

家政学科 健康栄養学専攻

「食」の分野から地域に貢献
高度な知識・技術を持ったスペシャリストへ



▶専任教員

鈴木 裕行【教授／栄養学、食品学、生化学】(大学副学長(学務担当))
栗山 孝雄【教授／公衆栄養学、衛生学・公衆衛生学】(家政学部長、家政学科長)
伊藤 常久【教授／教育保健学、公衆衛生学、学校保健学】
川俣 幸一【教授／スポーツ栄養学、応用栄養学、栄養薬学】(健康栄養学専攻主任)
佐藤 靖子【教授／食品組織学】
中尾 真理【教授／摂食嚥下障害に対するリハビリテーション】
嶋原美智子【准教授／給食経営管理、栄養疫学、公衆衛生】
高橋 文【講師／臨床栄養学】
深澤 律子【講師／調理学、栄養学、食品衛生学、スポーツ栄養学】
ブシャー・シルベ【講師／応用言語学】
八巻美智子【講師／家政学関係、食品学、栄養学関係】

《取得資格一覧》

卒業と同時に取得できる資格

▼ 所定の単位数を修得することで卒業と同時に取得

- 栄養士免許
- 管理栄養士国家試験受験資格
- 食品衛生管理者任用資格
- 食品衛生監視員任用資格
- 栄養教諭一種免許状

挑戦できる主な資格

- 食生活アドバイザー
- 医薬品登録販売者
- 薬学検定試験1級
- 食塩アドバイザー

家政学科健康栄養学専攻専門科目

▶社会・環境と健康

社会福祉論／公衆衛生学Ⅰ／公衆衛生学Ⅱ／健康管理概論

▶人体の構造と機能及び疾病の成り立ち

解剖生理学Ⅰ／解剖生理学Ⅱ／運動生理学／微生物学／生化学Ⅰ／生化学Ⅱ／病理学／解剖生理学実験／生化学実験／臨床医学概論Ⅰ／臨床医学概論Ⅱ

▶食べ物と健康

食品学総論／食品学各論／食品学実験Ⅰ／食品学実験Ⅱ／食品機能学／食品加工学／食品加工実習／食品衛生学／食品衛生学実験／調理科学論／調理科学実験／基礎調理学実習Ⅰ／基礎調理学実習Ⅱ／応用調理学実習Ⅰ／応用調理学実習Ⅱ／食文化論

▶基礎栄養学

基礎栄養学／栄養生化学／栄養学実験

▶応用栄養学

応用栄養学Ⅰ／応用栄養学Ⅱ／栄養管理論／応用栄養学実習Ⅰ／応用栄養学実習Ⅱ

▶栄養教育論

食生活論／栄養教育論／栄養指導論／保健栄養学／栄養情報処理演習／栄養指導論実習

▶臨床栄養学

臨床栄養学Ⅰ／臨床栄養学Ⅱ／臨床栄養指導論Ⅰ／臨床栄養指導論Ⅱ／臨床栄養学実習Ⅰ／臨床栄養学実習Ⅱ

▶公衆栄養学

公衆栄養学／公衆栄養学実習／地域栄養活動演習Ⅰ／地域栄養活動演習Ⅱ

▶給食経営管理論

給食管理学／給食経営学／給食管理実習Ⅰ／給食管理実習Ⅱ

▶総合演習

健康栄養学総合演習Ⅰ／健康栄養学総合演習Ⅱ／健康栄養学総合演習Ⅲ

▶臨地実習

給食管理臨地実習Ⅰ／給食管理臨地実習Ⅱ／臨床栄養学臨地実習Ⅰ／臨床栄養学臨地実習Ⅱ／公衆栄養学臨地実習Ⅰ／公衆栄養学臨地実習Ⅱ

▶関連科目

▶学校栄養指導論／学校食育概論

▶セミナーⅠ／セミナーⅡ／家政特別講義Ⅰ／家政特別講義Ⅱ／家政特別講義Ⅲ／家政特別講義Ⅳ／課題研究



美術の知識と技術を身につけ
地域社会の発展に貢献

▶専任教員

北折 整【教授／絵画】（大学副学長（総務担当））
三上 秀夫【教授／視覚伝達デザイン、絵画、染色】（美術学部長）
森岡 淳【教授／版画、地域活性、デジタルコンテンツ全般】（美術表現学科長）
鈴木 専【教授／アニメーション、芸術実践】
瀬戸 典彦【教授／美術】
鶴巻 史子【教授／情報デザイン学】
落合 里麻【准教授／工芸工業デザイン学】
立花布美子【准教授／工芸（陶芸）】
伊勢 周平【講師／美術、絵画】
佐々木輝子【講師／工芸（染織）】
山口 刀也【講師／子ども史、教育史】

《取得資格一覧》

卒業と同時に取得できる資格

▼ 所定の単位数を修得することで卒業と同時に取得

● 高等学校教諭一種免許状〔美術〕

● 高等学校教諭一種免許状〔工芸〕

● 中学校教諭一種免許状〔美術〕

● 学芸員

▼ 明星大学通信教育部と教育業務提携

● 小学校教諭二種免許状

挑戦できる主な資格

● トレース技能検定

● レタリング技能検定

● 色彩検定

● インテリアコーディネーター

※これらの資格は、「美術・工芸コース」、
「デザイン・メディア芸術コース」、いずれも
取得可能です。

美術学部美術表現学科専門科目

▶基礎科目

絵画基礎Ⅰ（映像メディア表現を含む。）／絵画基礎Ⅱ／彫刻基礎Ⅰ／彫刻基礎Ⅱ／工芸基礎Ⅰ（プロダクト制作を含む。）／工芸基礎Ⅱ／デザイン基礎Ⅰ（映像メディア表現を含む。）／デザイン基礎Ⅱ／メディア芸術基礎

▶美術

洋画Ⅰ／洋画Ⅱ／洋画Ⅲ／洋画Ⅳ／日本画Ⅰ／日本画Ⅱ／日本画Ⅲ／日本画Ⅳ／彫刻Ⅰ／彫刻Ⅱ／彫刻Ⅲ／彫刻Ⅳ

▶工芸

陶芸Ⅰ／陶芸Ⅱ／陶芸Ⅲ／陶芸Ⅳ／漆芸Ⅰ／漆芸Ⅱ／漆芸Ⅲ／漆芸Ⅳ／染織Ⅰ／染織Ⅱ／染織Ⅲ／染織Ⅳ

▶デザイン

視覚デザインⅠ／視覚デザインⅡ／視覚デザインⅢ／視覚デザインⅣ／情報デザインⅠ／情報デザインⅡ／情報デザインⅢ／情報デザインⅣ／プロダクトデザインⅠ／プロダクトデザインⅡ／プロダクトデザインⅢ／プロダクトデザインⅣ

▶メディア芸術

マンガⅠ／マンガⅡ／マンガⅢ／マンガⅣ／アニメーションⅠ／アニメーションⅡ／アニメーションⅢ／アニメーションⅣ／コンテンツデザインⅠ／コンテンツデザインⅡ／コンテンツデザインⅢ／コンテンツデザインⅣ

▶美術理論

色彩学／美術史Ⅰ／美術史Ⅱ／デザイン概論／美学Ⅰ／美学Ⅱ／美術鑑賞Ⅰ／美術鑑賞Ⅱ／メディア芸術論／地域工芸論／論文演習Ⅰ／論文演習Ⅱ／論文演習Ⅲ／論文演習Ⅳ

▶関連科目

製図Ⅰ／製図Ⅱ／図学Ⅰ／図学Ⅱ／インテリアデザインⅠ／インテリアデザインⅡ／写真Ⅰ／写真Ⅱ／美術特別講義Ⅰ／美術特別講義Ⅱ／美術特別講義Ⅲ／美術特別講義Ⅳ／美術特別講義Ⅴ／美術特別講義Ⅵ／美術教諭試験対策講座Ⅰ／美術教諭試験対策講座Ⅱ／版画Ⅰ／版画Ⅱ／壁画Ⅰ／壁画Ⅱ／人形Ⅰ／人形Ⅱ／ガラスアートⅠ／ガラスアートⅡ

▶応用科目

地域創生演習Ⅰ／地域創生演習Ⅱ／地域創生演習Ⅲ／地域創生演習Ⅳ／地域創生演習Ⅴ／地域創生演習Ⅵ／卒業研究Ⅰ／卒業研究Ⅱ

I ディプロマ・ポリシー

(卒業認定・学位授与の方針)

本学部は、「高い知識と技倆を修め、常に文化創造に寄与する、清く、正しく、健やかな人間の育成を目指す」という建学の精神に基づき、幅広い教養と家政学の専門的な知識と技能を身につけ、地域の生活および文化の創造に貢献できる人材の育成をめざして、以下の到達目標を達成した学生に学位を授与します。

服飾文化専攻

[知識・理解]

家政学の体系を理解するとともに、被服分野における高度な専門知識を身につけ、その知識体系の意義と社会生活を関連付けて服飾文化を理解できること。

[汎用的技能]

主に服飾産業における様々な分野で活躍するために必要となる技能・コミュニケーション能力・論理的思考力を身につけること。

[態度・主体性]

演習・実習・実験等の実践的授業を通して、主体性をもって社会で自律的に活動するために必要な倫理観・責任感・生涯学習力、チームワーク力を身につけること。

[統合的な学習経験と創造的思考力]

これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力を身につけること。

健康栄養学専攻

[知識・理解]

家政学の体系を理解するとともに、健康・栄養・食物分野における高度な専門知識を身につけ、その知識体系の意義と社会生活とを関連付けて理解できること。

[汎用的技能]

医療・福祉領域における管理栄養士又は食品業界における健康・栄養の専門家として活躍するために必要な技能・コミュニケーション能力・論理的思考力を身につけること。

[態度・主体性]

演習・実習・実験等の実践的授業を通して、主体性をもって社会で自律的に活動するために必要な倫理観・責任感・生涯学習力、チームワーク力を身につけること。

[統合的な学習経験と創造的思考力]

これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力を身につけること。

II カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成・実施の方針)

本学部は、豊かな人間力と実践力を備え、地域の生活の向上と優れた文化の創造に貢献できる人材を育成するため、幅広い教養と高度な専門分野の「学士力」を修得させることをめざします。そのため、各専門分野に応じた「知識・理解」、「汎用的技能」、「態度・主体性」及び「統合的な学習経験と創造的思考力」を培う教育課程を編成し、実践的・能動的学修の充実を図ります。

服飾文化専攻

服飾文化専攻は、家政学の体系を理解するとともに、特にその中の被服分野に関する高度な専門知識を修得するとともに、衣料管理士資格を取得することを基本目標として、多様な実験・実習を通して、服飾産業での商品企画・基礎研究・製造・流通などに力を発揮できる人材育成をめざした教育課程を編成します。また、学修成果の評価は、実習・実験等の実践的科目においてはルーブリックを設けて、評価項目を具体的に提示した客観的評価を行います。

・1年次は、初年次教育として「スタディスキルズ科目・ライフデザイン科目」により大学生活や学修の基盤を築き、「学部共通教養科目」で広い視野からの総合的な洞察力を養い、「基幹科目」で家政学を体系的に理解し、「生活文化分野」、「被服企画・造形分野」、「被服材料・加工・整理分野」の基礎的な知識・技能を修得します。また、各自の目標に応じて衣料管理士、高等学校と中学校の教諭一種免許〔家庭〕、学芸員等をはじめとする各種免許・資格の取得も計画し、必要な科目の単位修得を始めます。

・2 年次は、「被服材料・加工・整理分野」の理解を深めるとともに、「服飾文化分野」、「流通・消費・情報分野」の基礎的な知識・技能を修得します。さらに研修旅行を実施し、服飾産業の実情とその基盤となる文化について多角的に知識を修得するとともに、コミュニケーション能力、論理的思考力を身につけます。

・3 年次は、専攻科目各分野の実践的学修科目を通して応用力を深めます。また各自の進路目標に応じ戦略的に服を流通するためのビジネスを学ぶ「服飾ビジネスコース」と、快適で安全で楽しい衣生活を送るための生活を学ぶ「服飾生活コース」に分かれ、専門性とチームワーク力を高めます。さらに、専門分野のまとめとして「専門研究Ⅰ」に取り組み、各自の研究分野の情報収集を行い、主体的に課題を発見してそれを解決するための計画を立案し、実行する態度、倫理観、責任感を養います。

・4 年次は、専攻科目各分野の実践的学修科目を通して応用力を深めると共に、各自が選択したコースの専門科目の履修と、「専門研究Ⅰ」をより発展させた「専門研究Ⅱ」に取り組み、これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、課題解決能力、創造的思考力、生涯にわたって学習する力を養います。

健康栄養学専攻

健康栄養学専攻は、家政学を基礎から体系的に学び、特にその中の食物領域に関する高度な専門知識を修得するとともに、管理栄養士免許を取得することを基本目標とし、多様な実験・実習を通して、医療・福祉領域において管理栄養士業務に必要な技能、食品業界における商品企画・基礎研究・製造・販売などの分野に力を発揮できる人材育成をめざした教育課程を編成します。また、学修成果の評価は、実習・実験等の実践的科目においてはルーブリックを設けて、評価項目を具体的に提示した客観的评价を行います。

・1 年次は、初年次教育として「スタディスキルズ科目・ライフデザイン科目」により大学生活や学修の基盤を築き、「学部共通教養科目」で広い視野からの総合的な洞察力を養うとともに、特に化学の基礎学力の充実を図ります。また、「基幹科目」で家政学を体系的に理解します。さらに管理栄養士養成カリキュラムの「専門基礎分野」科目により、食品・栄養・健康の基礎的な知識・技能を修得します。

・2 年次は、「専門基礎分野」及び「専門分野」の講義・実験・実習を通して栄養管理・給食管理等に必要な知識・技能を身につけます。

・3 年次は、「専門基礎分野」及び「専門分野」の科目に加え、能動的学修科目を通して応用力を深め、臨地実習で給食管理の実践力を養います。また、これまでの学修のまとめとして「課題研究」に取り組み、各自の研究分野の情報収集を行い、課題を発見してそれを解決するための計画を立案し、実行する能力を養います。

・4 年次は、臨地実習で臨床栄養・公衆栄養の実践力を養うとともに、自己管理能力・コミュニケーション能力を身につけます。また、「課題研究」をより進展させ、これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、創造的思考力を養います。

Ⅲ アドミッション・ポリシー

(入学受入れの方針)

本学部は、生活及び文化の継承と創造に積極的に参加する意志をもち、地域社会に貢献できる人材を育成するため、自らの力で考え行動することのできる多様な人材を以下の方針により受け入れます。

○求められる人物像

服飾文化専攻

服飾文化専攻は、服飾産業を視野に入れた教育を通して、この分野の様々な業種で幅広く活躍できる人材を育成することを目的とします。このため、次のような人を求めます。

[知識・技能]

・服飾分野で幅広く活躍できる人材をめざす際に必要な基礎的な学力（特に国語・数学・英語・社会）を身につけている人

[思考力・判断力・表現力]

・学修する事項に関する情報を自発的に調べ、調べたことやそれに基づく自分の考えを表現する能力を身につけている人

[態度・主体性]

・服飾や生活文化全般に強い関心をもち、衣料管理士の資格取得をめざし、将来、服飾産業の諸分野や教育分野等の様々な分野で活躍することを望んでいる人

・他者と意思の疎通を図り、学修活動等ができるコミュニケーション能力を身につけている人

健康栄養学専攻

健康栄養学専攻は、食生活の面から、医療・保健・教育・福祉・食品産業の分野で、人の健康的な生活を支援する高度な専門性を備えた人材を育成することを目的とします。このため、次のような人を求めます。

[知識・技能]

・管理栄養士や栄養教諭をめざす際に必要な基礎学力（特に国語・英語・数学・化学・生物）を身につけている人

[思考力・判断力・表現力]

・学修する事項に関する情報を自発的に調べ、調べたことやそれに基づく自分の考えを表現する能力を身につけている人

[態度・主体性]

・「食と健康」の分野に興味があり、将来は医療・保健・教育・福祉・食品産業の分野で専門性を活かし、地域社会に貢献しようとする意欲をもち、管理栄養士の免許取得をめざしている人
・他者と意思の疎通を図り、学修活動等ができるコミュニケーション能力を身につけている人

○入学者選抜の基本方針

[総合型選抜試験]

総合型選抜試験では、高い主体性をもって学修に取り組める人を選抜します。

志願理由書並びに面接試験により「態度・主体性」を重点的に評価し、調査書と課題作文試験により「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」を評価します。

[学校推薦型選抜試験]

学校推薦型選抜試験では、学修への取り組みの主体性と高等学校段階での多様な能力・関心を重視し、それらを表現できる人を選抜します。

小論文並びに面接試験により「思考力・判断力・表現力」及び「態度・主体性」を重点的に評価し、調査書により「知識・技能」及び「態度・主体性」を評価します。

[一般選抜試験A日程]

一般選抜試験A日程では、より深い知識をもち、それを基に深く考え判断し、表現できる人を選抜します。

学力試験により「知識・技能」を重点的に評価し、

調査書並びに学力試験により「思考力・判断力・表現力」及び「態度・主体性」を評価します。

[一般選抜試験B日程]

一般選抜試験B日程では、知識に裏付けられた思考・判断を表現できる能力と学修への取り組みの主体性をもつ人を選抜します。

学力試験により「知識・技能」を、面接試験により「態度・主体性」を重点的に評価し、学力・面接試験及び調査書により「思考力・判断力・表現力」を評価します。

[一般選抜試験C日程]

一般選抜試験C日程では、学修への取り組みの主体性と高等学校段階での多様な能力・関心を重視し、それらを表現できる人を選抜します。

小論文により「思考力・判断力・表現力」を、面接試験により「態度・主体性」を重点的に評価し、調査書により「知識・技能」を評価します。

[大学入学共通テスト利用選抜試験]

大学入学共通テスト利用選抜試験では、より深い知識を持ち、それを基に深く考え判断し、表現できる人を選抜します。

大学入学共通テストにより「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価し、調査書により「態度・主体性」を評価します。

I ディプロマ・ポリシー

(卒業認定・学位授与の方針)

本学部は、「高い知識と技倆を修め、常に文化創造に寄与する、清く、正しく、健やかな人間の育成を目指す」という建学の精神に基づき、幅広い教養と美術の専門知識と技能を身につけ、地域社会の発展に貢献し、持続的な文化の創造に寄与する人材の養成をめざして、以下の到達目標を達成した学生に学位を授与します。

[知識・理解]

美術の基本的な体系を理解するとともに、美術、工芸、デザイン、メディア芸術（マンガ・イラスト・アニメーション・ゲーム）分野において、それぞれの専門知識と技能を身につけ、その知識や技能体系を、産業、文化、自然に関連付けて理解できること。

[汎用的技能]

美術、工芸、デザイン、メディア芸術分野での創造的活動及び職業や地域貢献活動に必要な技能として、多様な情報を収集・分析し、整理するための情報リテラシー、また社会生活に必要な他者と意思疎通ができるためのコミュニケーション・スキルやプレゼンテーションスキル、問題を発見し、自律して学修し解決するための論理的思考・分析力を身につけること。

[態度・志向性]

社会の一員として、チームワークの中で他者と協調・協働して行動し、積極的に地域社会の発展に貢献することができること。また、卒業後も、自律して文化創造活動など学修する態度を身につけること。

[統合的な学習経験と創造的思考力]

これまでに獲得した知識・技能・態度などを総合的に活用し、さまざまな分野で課題を見出し、その課題について広い視野から深く考察し、問題解決に導くことができる創造的思考力を持つこと。

II カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成・実施の方針)

本学部は、豊かな人間力と実践力を備え、地域社会

の発展に貢献できる人材を養成するため、幅広い教養と美術、工芸、デザイン、メディア芸術分野における高度な知識、技能及び先端的で多様な表現や技法の教育内容を組み入れた教育課程を編成することにより、実践的で能動的な学修の充実を図ります。

美術表現学科は、美術の体系を理解するとともに、深く高度な専門技能を修得できるように2つのコース（美術・工芸コース及びデザイン・メディア芸術コース）を設置し、一人一人の個性・能力・意欲を最大限に発揮できる教育課程を編成します。また、地域社会で社会人として貢献できる人材育成として、1年次から4年次に亘ってキャリア形成教育を導入するとともに、1年次から3年次に亘る実践活動を主体とする「地域創生演習」によって、就職や大学院への進学など卒業後の進路について目標実現に対する意識向上を図る能動的学修を行います。学修成果の評価は、実技・演習等の実践的科目についてはルーブリックを設けるなど、科目によってより客観的に評価できるように多様な評価方法を取入れて行います。

・1年次は、初年次教育として「スタディスキルズ」科目、「ライフデザイン」科目により大学生活や学修の基盤を築き、大学共通教養科目で広い視野からの総合的な洞察力を養い「美術理論」で美術を学ぶ意義と美術の体系について理解します。また、「絵画基礎」、「彫刻基礎」、「工芸基礎」、「デザイン基礎」、「メディア芸術基礎」等により、各専門分野における基本的な知識・技能を修得します。さらに、免許・資格取得に必要な科目についても、4年間で無理なく単位取得ができるように、各年次を通して計画的なカリキュラム編成を行っています。

・2年次は、「美術」、「工芸」、「デザイン」、「メディア芸術」、「美術理論」の各専門科目から複数履修し、学びたい分野の知識・技能を深め、3年次からの適正なコース選択に備えます。また、キャリア形成教育として「キャリア開発」科目によって、具体的な職業選択についての情報を得て卒業後の進路に備えます。

・3年次は、各自が、2つの専門コース（美術・工芸コース、デザイン・メディア芸術コース）から選択したそれぞれの専門コースに分かれ、専門分野における創造力、表現力を修得します。後期には、それぞれの専門分野における専門科目を履修することによって、4年次の「卒業研究」に向けて情報収集を行い、課題を発

見して解決するための計画を立案し、実行する態度を養います。

・4年次は、専門分野における創造力、表現力をさらに高め、4年間の集大成となる「卒業研究」に取り組み、展示・研究発表を行います。また、免許・資格に対応したセミナー・講義等により、その取得を目指し、キャリア形成科目の「キャリアサポート」により、就職活動を支援します。

III アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

本学部は、文化の継承と創造に積極的に参加する意思を持ち、地域社会に貢献できる人材を養成するため、自らの力で考え行動することのできる多様な人材を以下の方針により受け入れます。

○求められる人物像

美術表現学科は、豊かな教養と美術・工芸・デザイン・メディア芸術に関する深く、高度な専門教育を通して、幅広い職業分野で創造力を発揮し社会に貢献できる人材を養成することを目的とします。このため、次のような人を求めます。

[知識・理解]

・美術に関する分野に関心をもち、学修に対応する基本的な知識・技能をもつ人

[思考力・判断力・表現力]

・文化・自然・社会に関する課題について自己の考えをまとめるための思考力・判断力・表現力の修得及び地域社会に貢献する意欲をもつ人

[態度・志向性]

・主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度をもち、作品制作・研究に取り組む意欲をもつ人
・美術に関する学修活動において、他人と意思疎通を図りコミュニケーションの体験のある人

○入学者選抜の基本方針

[総合型選抜試験]

総合型選抜試験では、主体性をもって学修に取り組める人を選抜します。

調査書により、「知識・技能」及び「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。志

願理由書により、「思考力・判断力・表現力」及び美術に関する「知識・意欲」を評価します。面接試験により、「多様な個性」を評価します。

[セミナー特別選抜試験]

セミナー特別選抜試験では、専門的な知識・技能への関心、学修への意欲と主体的に学ぶ態度を有する人を選抜します。

調査書により、「知識・技能」及び「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。セミナーレポートにより、「思考力・判断力・表現力」及び美術に関する「関心・意欲」を評価します。

[学校推薦型選抜試験]

学校推薦型選抜試験では、学修への取り組みの主体性と高等学校段階での多様な能力・関心を重視し、それらを表現できる人を選抜します。

調査書により、「知識・技能」及び「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。持参作品により「知識・技能・表現力」及び美術に関する「関心・意欲」を、プレゼンテーションにより「思考力・判断力・表現力」及び美術に関する「関心・意欲」を評価します。

[総合型選抜試験（芸術系指導者推薦）]

総合型選抜試験（芸術系指導者推薦）では、芸術分野で特に活躍し、美術に関して強い関心と学修する意欲のある人を選抜します。

調査書により、「知識・技能」及び「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。持参作品により、「知識・技能・表現力」及び美術に関する「関心・意欲」を、プレゼンテーションにより、「思考力・判断力・表現力」及び美術に関する「関心・意欲」を評価します。

[一般選抜試験A日程]

一般選抜試験A日程では、より広い知識を基に深く考え判断し、それを作品として表現できる人を選抜します。

調査書により、「知識・技能」及び「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。学力試験により、「知識」及び「思考力・判断力」を評価します。実技試験により、「技能」及び「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。

[一般選抜試験B日程]

一般選抜試験B日程では、主体的に学修に取り組むことができ、知識に裏付けられた思考・判断をさまざま

まな方法で表現できる人を選抜します。

調査書により、「知識・技能」及び「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。実技試験により、「技能」及び「思考力・判断力・表現力」を、面接試験により、「思考力・判断力・表現力」及び美術に関する「関心・意欲」を評価します。

[一般選抜試験C日程]

一般選抜試験C日程では、高等学校までの多様な能力・関心を重視し、それらをさまざまな方法で表現できる人を選抜します。

調査書により、「知識・技能」及び「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。実技試験により、「技能」及び「思考力・判断力・表現力」を、面接試験により、「思考力・判断力・表現力」及び美術に関する「関心・意欲」を評価します。

[大学入学共通テスト利用選抜試験A日程]

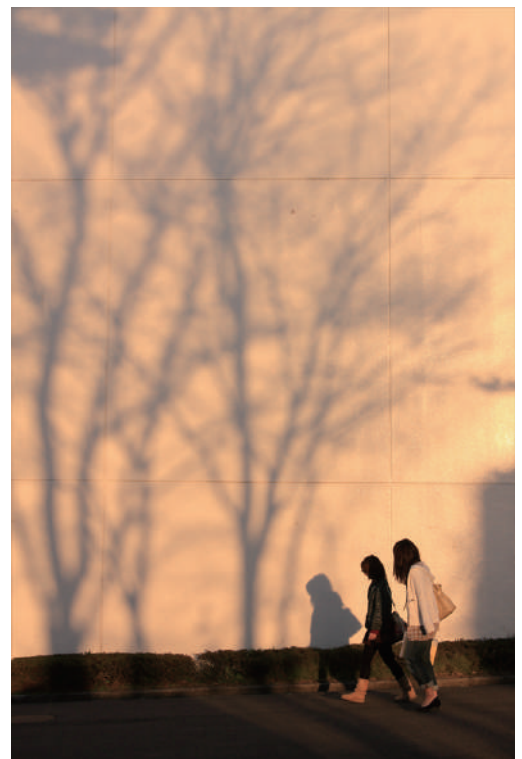
大学入学共通テスト利用選抜試験A日程では、より広い知識を基に深く考え判断し、それをさまざまな方法で表現できる人を選抜します。

大学入学共通テストにより、「知識」及び「思考力・判断力」を評価します。調査書により、「知識・技能」及び「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。実技試験により、「技能」及び「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。

[大学入学共通テスト利用選抜試験B日程]

大学入学共通テスト利用選抜試験B日程では、学修への取り組みの主体性をもち、知識に裏付けられた思考・判断をいろいろな方法で外部に対して表現できる人を選抜します。

大学入学共通テストにより、「知識」及び「思考力・判断力」を評価します。調査書により、「知識・技能」及び「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。面接試験により、「思考力・判断力・表現力」及び美術に関する「関心・意欲」を評価します。



教育研究上の目的・基本組織

三島学園建学の精神に基づいて、我が国の生活文化の向上を図るため、生活と文化に関する専門の学芸を教授研究し、実学教育によって職業又は实际生活に必要な能力を養成し、社会に貢献する実践力のある人材を育成することを目的とし、使命とする。

生活文化学科

広く教養を培い、生活文化に関する学習を通じて、職業又は实际生活に必要な豊かな能力を備えた人材の育成を目的とする。

▶食物栄養学専攻

生活文化を基礎とした教養及び基礎学力を身につけるとともに、栄養士の養成を目的とした教育課程により、食分野において貢献できる人材の育成を目的とする。

▶子ども生活専攻

生活文化を基礎とした教養及び基礎学力を身につけるとともに、保育に関する知識及び技能を講義・演習・実習を通して修得し、保育現場において自ら課題の解決に取り組むことのできる人材の育成を目的とする。

生活文化学科共通教養科目

▶人と自然科学

生物と生命倫理／環境学

▶生活と社会

消費生活と経済／社会学／日本国憲法

▶人と文化

文化史／心理学／健康管理学／健康スポーツⅠ／健康スポーツⅡ

▶情報・言語コミュニケーション

日本語基礎／国語表現法／英語Ⅰ／英語Ⅱ／情報処理Ⅰ／情報処理Ⅱ

▶キャリア形成

スタディスキルズ／キャリアアップセミナー／キャリアサポートセミナーⅠ／キャリアサポートセミナーⅡ

生活文化学科基幹科目

生活文化概論／生活文化各論

食物栄養学専攻

「食」をトータルコーディネートし
安全でおいしい食事を提供する栄養士へ



▶専任教員

池田 展敏【教授／統計物理学、確率過程論】（生活文化学科長）

益田 裕司【准教授／給食管理】（食物栄養学専攻主任）

木下 ゆり【教授／栄養指導】

永沼 孝子【教授／栄養学、生物資源利用学】

黒川 優子【准教授／食品衛生学、環境科学、魚類生理学】

青柳 公大【講師／調理学】

《取得資格一覧》

卒業と同時に取得できる資格

▼ 所定の単位数を修得することで卒業と同時に取得

- 栄養士免許
- フードコーディネーター 3級
- フードサイエンティスト
- 食空間コーディネーター 3級
- 情報処理士
- 社会福祉主事任用資格

挑戦できる主な資格

▼ 所定の単位数を修得することで卒業と同時に取得

- 食生活アドバイザー
- 栄養士実力認定試験
(資格ではありませんが実力アップにつなげるため、受験を勧め、指導しています。)

食物栄養学専攻専攻科目

▶専門基礎科目

有機化学／統計学／数学基礎演習／栄養情報処理演習Ⅰ／栄養情報処理演習Ⅱ

▶社会生活と健康

社会福祉論／公衆衛生学／健康管理概論

▶人体の構造と機能

解剖生理学／運動生理学／生化学／病理学

▶食品と衛生

食品学／食品機能学／食品学実験Ⅰ／食品学実験Ⅱ／食品衛生学／食品衛生学実験Ⅰ／食品衛生学実験Ⅱ／微生物学

▶栄養と健康

栄養学Ⅰ／栄養学Ⅱ／栄養学実験／ライフステージ栄養学／ライフステージ栄養学実習Ⅰ／ライフステージ栄養学実習Ⅱ／臨床栄養学概論
／臨床栄養学各論／臨床栄養学実習

▶栄養の指導

栄養指導論Ⅰ／栄養指導論Ⅱ／栄養指導論実習／公衆栄養学

▶給食の運営

調理科学論／調理学実習Ⅰ／調理学実習Ⅱ／調理学実習Ⅲ／給食管理学／給食管理基礎演習Ⅰ／給食管理基礎演習Ⅱ／給食管理実習Ⅰ／給食管理実習Ⅱ／給食管理実習Ⅲ（給食運営に係る校外学習）／栄養士基礎演習

▶資格支援科目

食文化論／食生活支援論／特別演習／テーブルコーディネートⅠ（テーブルマナーを含む。）／テーブルコーディネートⅡ／フードマネジメ

子ども生活専攻

子どもの感性を育み
子どもの生活を豊かにすることのできる保育者へ



▶専任教員

武田 早苗【教授／図画工作・美術教育、小学校教育全般】

岡崎 善治【准教授／教育学、保育学】

松尾 広【教授／情報工学】

大瀬戸美紀【准教授／社会福祉、障がい児教育】（子ども生活専攻主任）

廣瀬 団【准教授／幼児体育、子どもの健康、親子体操】

高橋 恵美【講師／教育学、保育学】

米川 純子【講師／教育・保育相談、児童福祉、児童心理】

佐藤 恵美【助教／国語】

《取得資格一覧》

卒業と同時に取得できる資格

▼ 所定の単位数を修得することで卒業と同時に取得

- 保育士資格
- 幼稚園教諭二種免許状
- 社会福祉主事任用資格

挑戦できる主な資格

- ピアヘルパー

子ども生活専攻専攻科目

▶保育の本質・目的に関する科目

保育原理／教育原理／子ども家庭福祉論／社会福祉論／地域福祉論／子ども家庭支援論／社会的養護Ⅰ／保育者論／教育・保育制度論

▶保育の対象の理解に関する科目

発達心理学／子ども理解の理論と方法／教育心理学／子ども家庭支援の心理学／教育・保育相談／子どもの保健／子どもの食と栄養Ⅰ／子どもの食と栄養Ⅱ

▶保育の内容・方法に関する科目

教育課程論／保育の計画と評価／保育内容総論／保育内容（健康）／保育内容（人間関係）／保育内容（環境）／保育内容（言葉）／保育内容（表現Ⅰ）／保育内容（表現Ⅱ）／子どもと健康／子どもと人間関係／子どもと環境／子どもと言葉／子どもと音楽表現／子どもと造形表現／教育・保育方法論／保育内容の指導法／保育の実技と演習／児童文化／乳児保育Ⅰ／乳児保育Ⅱ／子どもの健康と安全／障害児保育／特別支援教育／社会的養護Ⅱ／子育て支援／ピアノⅠ／ピアノⅡ／ピアノⅢ／ピアノⅣ

▶保育実習

保育実習Ⅰ／保育実習指導Ⅰ／保育実習Ⅱ／保育実習指導Ⅱ

▶教育実習

教育実習（事前事後指導を含む。）

▶教職実践演習・総合演習

保育・教職実践演習（幼稚園）

▶資格支援科目

ピアヘルパー演習

I ディプロマ・ポリシー

(卒業認定・学位授与の方針)

本学は、「高い知識と技倆を修め、常に文化創造に寄与する、清く、正しく、健やかな人間の育成を目指す」という建学の精神に基づいて、豊かな人間力と実践力を備え、地域の担い手として生活と文化の向上に貢献する人材の育成をめざして、以下にあげる到達目標を達成し、学則に定める所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与します。

食物栄養学専攻

[知識・理解]

- ・基礎的な学習能力・知識と社会人としての豊かな教養を身につけること。
- ・家庭と社会との関りを理解できること。
- ・栄養士に必要な専門知識・技術と、食分野の幅広い知識を身につけること。

[汎用的技能]

- ・栄養士として指導力を発揮できる実践力・コミュニケーション能力を身につけること。

[態度・主体性]

- ・基準や法令を遵守し、安全でおいしい食事を提供するための態度や倫理観・責任感をもつこと。

[統合的な学習経験と創造的思考力]

- ・実習・演習・講義などを通して修得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、社会で自立し、主体的に行動できる能力を身につけること。

子ども生活専攻

[知識・理解]

- ・基礎的な学習能力・知識と社会人としての豊かな教養を身につけること。
- ・家庭と社会との関りを理解できること。
- ・保育士と幼稚園教諭に必要な専門知識・技術と、保育に関する幅広い知識を身につけること。

[汎用的技能]

- ・保育の現場で自ら課題の解決に取り組むことができる実践力・コミュニケーション能力を身につけること。

[態度・主体性]

- ・保育者として子どもの安全や健全な成長にかかわる

ことへの態度や倫理観・責任感をもつこと。

[統合的な学習経験と創造的思考力]

- ・実習・演習・講義などを通して修得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、社会で自立し、主体的に行動できる能力を身につけること。

II カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成・実施の方針)

本学では、豊かな人間力と実践力を備え、地域の担い手として生活と文化の向上に貢献する人材を育成するため、社会生活に必要な教養、基礎学力、専門的知識・技術及び一般常識・コミュニケーション能力などの社会人基礎力を身につけさせることをめざし、次のような方針で教育課程を編成し、実施します。

- ・教育課程は、社会生活に必要な教養を修得するための「教養科目」、生活文化について理解を深める「基幹科目」、基礎から順次的に専門知識を修得するための「専攻科目」で構成します。

- ・短大における学習や生活への導入としての初年次教育及び社会人基礎力・就業力を修得するために、スタディスキルズ科目及びキャリアアップセミナー等を行います。これらの科目では、複数の教員が共同ですべての学生の指導にあたるチームティーチングを行い、グループワークによるアクティブラーニングなどを通して、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけていきます。

- ・実験・実習等の実践的科目における学修成果の評価は、ルーブリックを設けて具体的な評価項目を示し、客観的に評価します。

- ・卒業要件科目のほか、免許・資格取得に必要な科目を設定します。

食物栄養学専攻

食物栄養学専攻では、栄養士の養成を主な目標とし、食の分野で活躍できる人材の育成をめざした教育課程を編成します。特に、実験・実習に十分な時間を確保することで、安全でおいしい食事を提供するための実践力を養います。また、「フードコーディネーター3級」「フードサイエンティスト」「食空間コーディネーター3級」「情報処理士」の資格取得に必要な科目を設定

します。

- ・1 年次は、教養科目や専門基礎科目の学習により基礎学力の向上を図るとともに、専門分野の学習を通して栄養士に必要な知識・技術の修得をめざし、実験、実習などを通して、コミュニケーション能力を養います。また、栄養士基礎演習では校外実習に備え、様々な食の現場に関する学習を行い、栄養士という職業について理解を深めます。
- ・2 年次は、教養科目の学修、栄養士免許の取得に必要な専門分野の学修とともに、給食経営に係る校外実習を通して、給食管理の実践力の向上を図ります。また、食空間演出や食産業、食品科学技術、情報利用技術に関する学習を通じて、より幅広い分野で活躍できる人材の育成をめざします。

子ども生活専攻

子ども生活専攻では、国家資格である保育の専門職の保育士と幼稚園教諭の養成を主な目標とし、保育所をはじめとする児童福祉施設や幼稚園などの保育現場において活躍する人材の育成をめざした教育課程を編成します。

- ・1 年次は、基礎学力を身につけるための教養科目や専攻科目を学習し、保育士と幼稚園教諭に必要な知識・技術の修得をめざし、実習などを通して、コミュニケーション能力を養います。また、附属幼稚園・保育園での基礎実習では、実際に子どもと関わることによって、体験的に保育技術を学ぶとともに、職業としての保育者について理解を深めます。さらに、ピアヘルパー演習を通して、保育者として求められるコミュニケーション能力のさらなる向上を図ります。
- ・2 年次は、教養科目の学修、専攻科目の講義・演習に加え、資格・免許取得のために必要な学外での保育実習（保育所、児童福祉施設等）・教育実習（幼稚園）を行うことを通して、保育実践力の向上を図り、より専門性の高い保育士と幼稚園教諭として活躍できる人材の育成をめざします。

III アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

生活文化学科

生活文化学科は、生活文化を科学的に捉えて、社会生活に必要な教養と専門性及び社会人基礎力を身につけ、豊かな人間力と実践力を備えた地域の担い手として生活と文化の向上に貢献する人材を育成することを目的としており、このため以下の方針に定める人達を積極的に受入れます。

○求められる人物像

食物栄養学専攻

栄養士として活躍し、地域の担い手となる人材を育成することを目的とします。このため、次のような人を求めます。

[知識・技能]

- ・高等学校までの学習活動に真剣に取り組んでいる人
- ・本専攻の専門分野を学ぶための基礎となる化学基礎又は生物基礎などの科目を習得している人

[思考力・判断力・表現力]

- ・基本的な計算の方法を習得している人
- ・常識的な文章力がある人

[態度・主体性]

- ・食や健康に関する分野に興味をもっている人
- ・栄養士等の資格を活かした分野で活躍したいと強く思っている人
- ・自分とかわる人たちと良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力をもつ人
- ・自分の可能性を広げるために、目標をもち、主体性をもって行動できる人
- ・部活動、特別活動、資格取得への挑戦、ボランティア活動などを続けてきた人

子ども生活専攻

保育者として活躍し、地域の担い手となる人材を育成することを目的とします。このため、次のような人を求めます。

[知識・技能]

- ・高等学校までの学習活動に真剣に取り組んでいる人

[思考力・判断力・表現力]

- ・読書をし、本・新聞などの文章に親しんでいる人
- ・常識的な文章力がある人

[態度・主体性]

- ・責任感があり、保育士や幼稚園教諭になりたいと強く思っている人

- ・子どもとかかわった経験（ボランティアなど）を多くもつ人
- ・自分とかかわる人たちと良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力をもつ人
- ・自分の可能性を広げるために、目標をもち、主体性をもって行動できる人
- ・部活動、特別活動、資格取得への挑戦、ボランティア活動などを続けてきた人

○入学者選抜の基本方針

〔総合型選抜試験〕

高い主体性をもって学修に取り組める人を選抜します。

面接試験では〔知識・技能〕、〔態度・主体性〕及び〔思考力・判断力・表現力〕のほか、コミュニケーション能力を評価します。

調査書により〔知識・技能〕及び〔態度・主体性〕を評価します。

〔学校推薦型選抜試験〕

学修への取り組みの主体性と高等学校段階での多様な能力、関心を重視し、それらを表現できる人を選抜します。課題作文では文章力、〔思考力・表現力〕及び〔態度・主体性〕を評価し、面接試験では〔態度・主体性〕、〔思考力・判断力・表現力〕及びコミュニケーション能力を評価します。調査書では〔知識・技能〕及び〔態度・主体性〕を評価します。

〔一般選抜試験 A 日程〕

より深い知識をもち、それを基に深く考え、判断し表現できる人を選抜します。現代の国語試験から国語に関する〔知識・技能〕及び〔思考力・判断力・表現力〕を評価します。面接試験では〔態度・主体性〕、〔思考力・判断力・表現力〕及びコミュニケーション能力を評価し、調査書では〔知識・技能〕及び〔態度・主体性〕を評価します。

〔一般選抜試験 B 日程〕

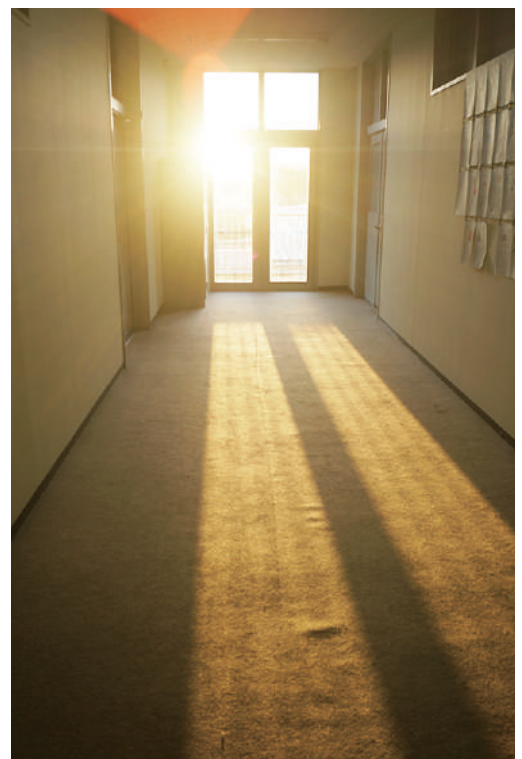
知識に裏付けられた思考・判断を表現できる能力と学修への取り組みの主体性をもつ人を選抜します。作文では文章力、〔思考力・判断力・表現力〕及び〔態度・主体性〕を評価します。面接試験では〔態度・主体性〕、〔思考力・判断力・表現力〕及びコミュニケーション能力を評価し、調査書では〔知識・技能〕及び〔態度・主体性〕を評価します。

〔一般選抜試験 C 日程〕

高等学校段階での多様な能力、関心を重視し、学修への取り組みの主体性をもつ人を選抜します。作文では文章力、〔思考力・判断力・表現力〕及び〔態度・主体性〕を評価します。面接試験では〔態度・主体性〕、〔思考力・判断力・表現力〕及びコミュニケーション能力を評価し、調査書では〔知識・技能〕及び〔態度・主体性〕を評価します。

〔大学入学共通テスト利用選抜試験〕

より深い知識をもち、それを基に深く考え判断し、表現できる人を選抜します。大学入学共通テストでは〔知識・技能〕を評価します。面接試験では〔態度・主体性〕、〔思考力・判断力・表現力〕及びコミュニケーション能力を評価し、調査書では〔知識・技能〕及び〔態度・主体性〕を評価します。



明治 33(1900) 年 10 月	三島駒治先生、東北法律学校設置認可を受け、10 月 28 日、仙台市東三番町に開校
明治 36(1903) 年 10 月	東北女子職業学校（本科・別科・高等研究科）設置認可
明治 36(1903) 年 10 月	教育勅語を奉戴し、10 月 27 日を創立記念日と定める
昭和 15(1940) 年 3 月	財団法人三島学園設立認可
昭和 19(1944) 年 4 月	東北女子職業学校を東北女子実業学校（中等学校令・実業学校規）と改称
昭和 26(1951) 年 2 月	財団法人三島学園を学校法人三島学園に改組
昭和 26(1951) 年 2 月	三島学園女子短期大学の設置認可
昭和 27(1952) 年 3 月	三島学園女子高等学校専攻科を、三島学園女子短期大学別科として設置認可
昭和 29(1954) 年 4 月	三島学園女子短期大学第二部（夜間 2 年制）及び同別科被服専修第二部（夜間 1 年制）を設置
昭和 30(1955) 年 3 月	三島学園女子短期大学家政専攻科（1 年制）を設置
昭和 33(1958) 年 1 月	三島学園女子大学家政学部家政学科の設置認可
昭和 37(1962) 年 4 月	三島学園女子短期大学に体育科を開設
昭和 40(1965) 年 4 月	三島学園女子大学家政学部に生活理学科、生活美術学科を増設
昭和 49(1974) 年 4 月	三島学園女子短期大学体育科廃止届出、受理
昭和 49(1974) 年 12 月	大学・短大・高校、仙台市清水小路三番地より泉市上谷刈字東伐生 14 番地（現校地）に全面移転完了
昭和 51(1976) 年 3 月	三島学園女子大学家政学部生活理学科の廃止届出、受理
昭和 57(1982) 年 9 月	三島学園女子短期大学家政科二部の廃止認可
昭和 62(1987) 年 4 月	三島学園女子大学の名称を東北生活文化大学に改称認可、男女共学制となる
平成 13(2001) 年 4 月	三島学園女子短期大学家政科の名称を「生活文化学科」に変更
平成 15(2003) 年 4 月	東北生活文化大学家政学部家政学科に「家政学専攻」と「健康栄養学専攻」を設置、栄養士および管理栄養士の養成施設として認可
平成 16(2004) 年 4 月	三島学園女子短期大学を東北生活文化大学短期大学部と改称し、男女共学制を導入
平成 17(2005) 年 4 月	東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置 厚生省労働省から保育士養成施設として認可
平成 19(2007) 年 4 月	東北生活文化大学家政学部家政学科「家政学専攻」を「服飾文化専攻」に改称
平成 20(2008) 年 3 月	東北生活文化大学が「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定される
平成 20(2008) 年 8 月	東北生活文化大学創立 50 周年記念式典挙行
平成 22(2010) 年 3 月	東北生活文化大学短期大学部は、財団法人短期大学基準協会による平成 21 年度第三者評価の結果、適格と認定される
平成 24(2012) 年 1 月	東北生活文化大学短期大学部創立 60 周年記念式典挙行
平成 25(2013) 年 4 月	東北生活文化大学短期大学部生活文化学科「食物栄養学専攻」を設置、栄養士養成施設として認可
平成 25(2013) 年 4 月	ますみ幼稚園、ますみ保育園を東北生活文化大学短期大学部の附属施設とし、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園、同附属ますみ保育園に改称
平成 26(2014) 年 3 月	東北生活文化大学は、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定される
平成 26(2014) 年 3 月	東北生活文化大学短期大学部生活文化学科生活学専攻を廃止
平成 28(2016) 年 3 月	東北生活文化大学短期大学部は、財団法人短期大学基準協会による平成 27 年度第三者評価の結果、適格と認定される
平成 31(2019) 年 4 月	東北生活文化大学に「美術学部美術表現学科」を設置
令和 5(2023) 年 3 月	東北生活文化大学は、追評価の結果、公益財団法人日本高等教育評価機構が定める大学基準評価に「適合」として認定される
令和 5(2023) 年 3 月	東北生活文化大学短期大学部は、一般財団法人大学・短期大学基準協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから「適合」と認められる
令和 6(2024) 年 3 月	東北生活文化大学家政学部生活美術学科を廃止

▶三島学園女子大学

1958.1.10 ~ 1969.3.31 学 長 佐藤 允
1969.4. 1 ~ 1971.3.31 学 長 田中 保房
1971.4. 1 ~ 1987.3.31 学 長 佐藤 直助

▶東北生活文化大学(1987.4.1名称変更)

1987.4. 1 ~ 1994.1.29 学 長 佐藤 直助
1994.1.30 ~ 1994.3.31 学長代行 上田 欣彌
1994.4. 1 ~ 1997.3.31 学 長 上田 欣彌
1997.4. 1 ~ 2000.6.30 学 長 佐々木菊見
2000.7. 1 ~ 2007.3.31 学 長 池上 雄作
2007.4. 1 ~ 2011.3.31 学 長 浅尾 豊信
2011.4. 1 ~ 2015.3.31 学 長 秋葉 征夫
2015.4. 1 ~ 2019.3.31 学 長 山田 宗慶
2019.4. 1 ~ 現 在 学 長 佐藤 一郎

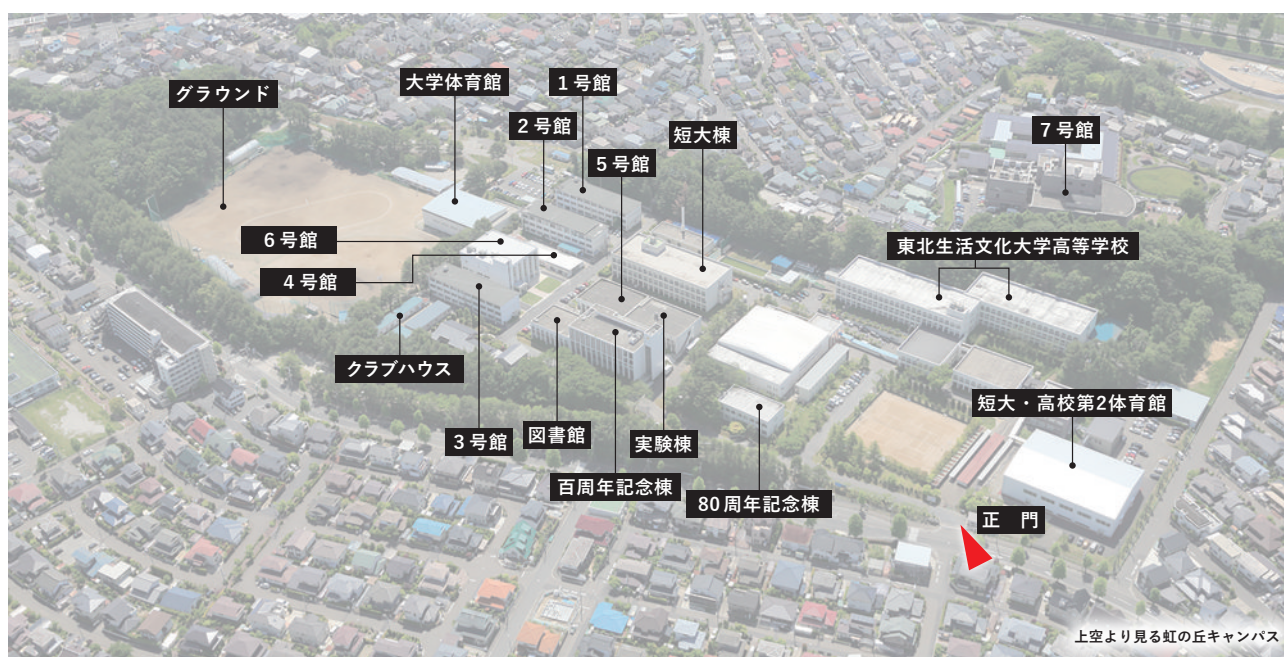
▶三島学園女子短期大学

1951.2.27 ~ 1969.3.31 学 長 佐藤 允
1969.4. 1 ~ 1971.3.31 学 長 田中 保房
1971.4. 1 ~ 1991.3.31 学 長 佐藤 直助
1991.4. 1 ~ 1996.3.31 学 長 上田 欣彌
1996.4. 1 ~ 1997.3.31 学長補佐 佐々木菊見
1997.4. 1 ~ 1999.3.31 学 長 佐々木菊見
1999.4. 1 ~ 2000.2.28 学 長 佐々木康之
2000.3. 1 ~ 2000.6.30 学長代行 佐々木菊見
2000.7. 1 ~ 2004.3.31 学 長 池上 雄作

▶東北生活文化大学短期大学部(2004.4.1名称変更)

2004.4. 1 ~ 2007.3.31 学 長 池上 雄作
2007.4. 1 ~ 2011.3.31 学 長 浅尾 豊信
2011.4. 1 ~ 2015.3.31 学 長 秋葉 征夫
2015.4. 1 ~ 2019.3.31 学 長 山田 宗慶
2019.4. 1 ~ 現 在 学 長 佐藤 一郎

キャンパス・施設



【東北生活文化大学】 建物計	11,711m ²
・ 1号館	1,559m ²
・ 2号館	1,576m ²
・ 3号館	1,620m ²
・ 4号館 (給食経営管理実習室、実習食堂)	334m ²
・ 5号館	1,006m ²
・ 実験棟	1,057m ²
・ 6号館	1,997m ²
・ 体育館	1,455m ²
・ 図書館	645m ²
・ 窯業場	70m ²
・ 造形演習工房	170m ²
・ 壁画工房	65m ²
・ クラブハウス	157m ²

【東北生活文化大学短期大学部】 建物計	5,243m ²
・ 短大棟	3,157m ²
・ 80周年記念棟 (音楽室・レッスン室・練習室・プレイルーム)	582m ²
・ 短大・高校第2体育館	1,504m ²
・ 百周年記念棟 (事務局・記念ホール等)	2,236m ²
・ 同窓会館	299m ²
・ 顕彰館	159m ²
・ グラウンド	19,800m ²
【虹の丘キャンパス】	108,868m ²
・ 7号館	5,886m ²
【双葉ヶ丘キャンパス】	10,618m ²

▶令和5年度 地域連携事業（ワクワクぷろじぇくと）

■まちに暮らす人々そして地域、すべてがワクワクする活動を多数、発信します。
■この活動を通して、大学（教育・研究・学生活動）と地域、すべての一体感を醸成します。

【7月】

食物栄養学専攻「ますみ幼稚園年長さん特別遠足食事会」本学

【10月】

ボランティアクラブ「泉ヶ岳悠遊フェスティバル 2023」オーエンス泉岳自然ふれあい館等
スポーツ栄養サークル「ベガルタ仙台＆マイナビ仙台レディースホームタウンフェスタ in 泉」isMe! おへそひろば
美術表現学科「杜の都のクラフトフェア 2023」サンモール一番町
服飾文化専攻「名取市立増田小学校ミシン学習サポート」名取市立増田小学校
健康栄養学専攻「第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 in 仙台ボランティア」仙台市戦災復興記念館
健康栄養学専攻ソルトサークル「上杉地区社協のふれあいサロン」上杉コミュニティセンター

【11月】

服飾文化専攻「第31回水の森市民センター地域まつり」水の森市民センター
美術表現学科「のびのびくらぶワークショップ粘土で作ろう」本学
子ども生活専攻「ワクワクキッズぷろじぇくと」仙台市宮城野児童館
健康栄養学専攻ソルトサークル「一日限りの産学連携レストラン」café 紬

【12月】

子ども生活専攻「ピアヘルパー活動」宮城県松島高等学校

【1月】

健康栄養学専攻「健康づくり講座」本学

【2月】

食物栄養学専攻「嫌われベーコンを活用したレシピコンテスト」本学
子ども生活専攻「あべこべマルシェ」BRANCH 仙台

【3月】

子ども生活専攻「ヤングケアラー料理教室」泉区中央市民センター



▶令和4年度 地域連携事業（ワクワクぷろじぇくと）

【7月】

子ども生活専攻「子育て支援事業 いざあそび場へ！」本学

【9月】

服飾文化専攻「ミシン学習サポート」名取市立増田小学校

【10月】

食物栄養学専攻「チリメンモンスターを探せ！ in 科学館」スリーエム仙台市科学館

【11月】

食物栄養学専攻「チリメンモンスターを探せ！」本学
服飾文化専攻「第30回水の森市民センター地域まつり」水の森市民センター

【1月～3月】

服飾文化専攻「医療法人心の郷 穂波の郷クリニック 緩和ケア支援センターはるか様への鬼衣装製作・寄贈」製作：本学

【2月】

食物栄養学専攻「味噌ベーコン開発・販売に伴うレシピ作成、試食会」本学
子ども生活専攻「子育て支援事業 いざあそび場へ！」本学

▶令和3年度 地域連携事業（ワクワクぷろじぇくと）

【6月】

健康栄養学専攻「親子で夏越の祓のご飯を作ろう～親子で日本の文」化に親しもう～」本学

【7月～3月】

健康栄養学専攻・食物栄養学専攻・子ども生活専攻「子ども食堂ボランティア」塩釜市藤倉児童館、泉区中央市民センター、幼保連携型認定こども園やかまし村、仙台市木町通市民センター、利府町文化交流センター、仙台子どもセンターこども造形アトリエアートフィールドくうか など

【7月、10月】

美術表現学科「三島学園子育て・家庭支援センターののびのびくらぶ公開講座～陶芸教室～」本学

▶公開講座（令和3年度～令和5年度）

【みやぎ県民大学開放講座】

令和5年度 8/26, 9/2 「調理の科学と食の安全」 永沼孝子、益田裕司、岡部美喜子、松崎加菜
令和4年度 8/25, 26 「木炭で、ありふれたものを描く」 鈴木専、伊勢周平
令和3年度 8/28, 29[中止]「よりよい衣生活」 井上美紀、菅野修一、川又勝子、水谷 浩

【東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部公開講座】

令和5年度 8/19, 26, 9/9 「ウツワをつくる」 立花布美子
令和4年度 10/29 「超高齢社会が抱える「食べる問題」を考える～仙台名物をいつまでも美味しく食べるために～」 高橋文
令和3年度 10/30 「チリメンモンスターを探せ！」 黒川優子

【三島学園公開講座東北生活文化大学講演会】

令和4年度 2/8 「テレビは、khbはどう変わろうとしているか？～そして求める人材とは～」 (株)東日本放送 社長 藤ノ木正哉 氏
令和元年度 11/9 「Creation & Communicationーファッションデザインのフィールドー」 平塚聖子氏

【学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス公開講座】

令和5年度 9/30[中止] 「心理学とはどのような学問か」 植松公威
令和4年度 9/3 「古今東西学びのかたちー学校の変遷を辿りながら、今の学校のあり方を考えるー」 山沢智樹
令和3年度 11/20 「江戸時代の乗物と駕籠ー文化とデザインの話ー」 落合里麻



▶入学者数推移（過去5年間）

各年度5月1日現在

学部・学科・専攻			令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
家政学部	家政学科	服飾文化専攻	18	13	14	17	18
		健康栄養学専攻	46	43	44	46	43
		計	64	56	58	63	61
美術学部	美術表現学科		48	50	64	62	73
	計		112	106	122	125	134

※平成31年4月より美術学部美術表現学科を設置、家政学部生活美術学科を募集停止

▶社会人入学者数推移（過去5年間）

各年度5月1日現在

学部・学科・専攻			令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
家政学部	家政学科	服飾文化専攻	0	0	0	0	0
		健康栄養学専攻	0	1	0	0	0
		計	0	1	0	0	0
美術学部	美術表現学科		0	0	0	0	0
	計		0	1	0	0	0

▶編入学者数推移（過去5年間）

各年度5月1日現在

学部・学科・専攻			令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
家政学部	家政学科	服飾文化専攻	0	0	0	0	0
		健康栄養学専攻	4	2	2	3	2
		計	4	2	2	3	2
美術学部	美術表現学科		0	0	0	0	－
	計		4	2	2	3	2

▶留学生数推移（過去5年間）

各年度5月1日現在

学部・学科・専攻			令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
家政学部	家政学科	服飾文化専攻	0	0	0	0	0
		健康栄養学専攻	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0
美術学部	美術表現学科		0	0	0	0	1
	計		0	0	0	0	1

▶海外派遣学生数推移（過去5年間）

実績なし

▶収容定員と在学生数

令和6年5月1日現在

学部・学科・専攻			入学定員	3年次編入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計	収容定員充足率
家政学部	家政学科	男	58	2	236	14	20	10	17	61	100.8%
		女				51	33	44	49	177	
		計				65	53	54	66	238	
	服飾文化専攻	男	18	－	72	3	3	3	5	14	
		女				15	10	11	13	49	
		計				18	13	14	18	63	
	健康栄養学専攻	男	40	2	164	11	17	7	12	47	
		女				36	23	33	36	128	
		計				47	40	40	48	175	
美術学部	美術表現学科	男	50	－	200	9	6	17	14	46	110.0%
		女				40	49	42	43	174	
		計				49	55	59	57	220	
	計	男	108	2	436	23	26	27	31	107	105.0%
		女				91	82	86	92	351	
		計				114	108	113	123	458	

▶卒業生数、進学者数、就職者数（過去5年間）

各年度5月1日現在

学部・学科・専攻			令和5年度			令和4年度			令和3年度			令和2年度			令和元年度		
			卒業生数 (学位授与数)	進学者数	就職者数	卒業生数 (学位授与数)	進学者数	就職者数	卒業生数 (学位授与数)	進学者数	就職者数	卒業生数 (学位授与数)	進学者数	就職者数	卒業生数 (学位授与数)	進学者数	就職者数
家政学部	服飾文化専攻	男	2	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		女	13	0	12	6	0	6	7	1	5	9	0	7	4	0	4
		計	15	1	12	7	0	7	8	2	5	9	0	7	4	0	4
	健康栄養学専攻	男	10	0	9	9	0	6	9	1	5	5	0	4	8	0	8
		女	31	0	30	21	0	21	32	0	30	27	2	25	31	0	25
		計	41	0	39	30	0	27	41	1	35	32	2	29	39	0	33
	家政学科	男	12	1	9	10	0	7	10	2	5	5	0	4	8	0	8
		女	44	0	42	27	0	27	39	1	35	36	2	32	35	0	29
		計	56	1	51	37	0	34	49	3	40	41	2	36	43	0	37
	生活美術学科 ※1	男	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5	0	4	8	0	2
		女	1	0	0	1	0	0	33	1	15	12	2	8	13	1	9
		計	1	0	0	1	0	0	36	1	15	17	2	12	21	1	11
美術学部	美術表現学科 ※2	男	17	2	11	14	0	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	49	3	32	19	0	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		計	66	5	43	33	0	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	男	29	3	22	24	0	17	13	2	5	10	0	8	16	0	10
		女	94	3	79	47	0	43	72	2	50	48	4	40	48	1	38
	計		123	6	101	71	0	60	85	4	55	58	4	48	64	1	48

※1 生活美術学科は、平成31年4月から学生募集停止

※2 美術表現学科は、平成31年4月設置

▶ 入学者数推移（過去5年間）

各年度5月1日現在

学科・専攻		令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
生活文化学科	食物栄養学専攻	33	34	24	36	27
	子ども生活専攻	13	26	31	34	43
	計	46	60	55	70	70

▶ 社会人入学者数推移（過去5年間）

各年度5月1日現在

学科・専攻		平成6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
生活文化学科	食物栄養学専攻	0	1	0	0	0
	子ども生活専攻	1	0	0	1	0
	計	1	1	0	1	0

▶ 留学生数推移（過去5年間）

実績なし

▶ 海外派遣学生数推移（過去5年間）

実績なし

▶ 収容定員と在学生数

令和6年5月1日現在

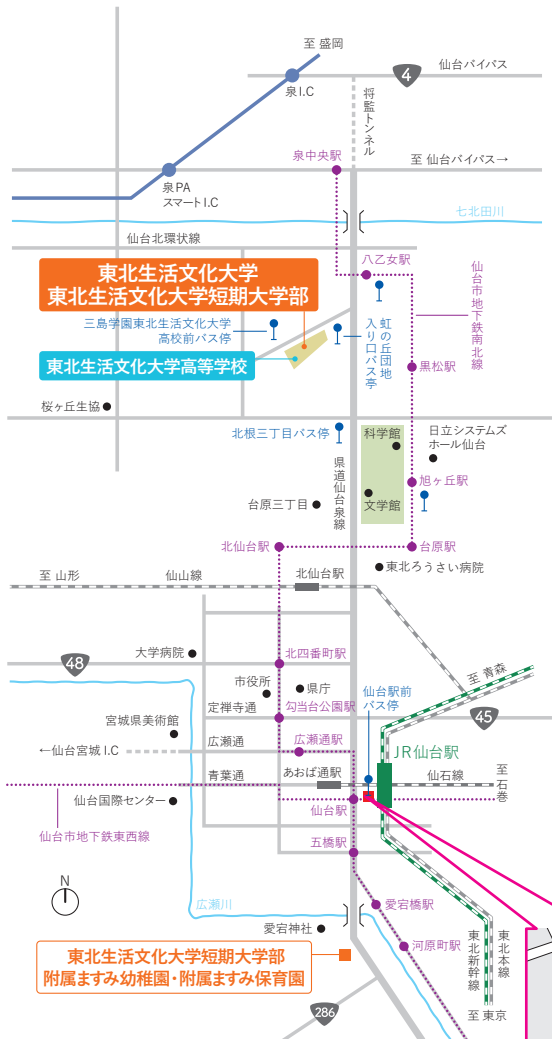
学科・専攻		入学定員	収容定員	1年次	2年次	計	収容定員充足率
生活文化学科	男	100	200	7	8	15	50.5%
	女			40	46	86	
	計			47	54	101	
食物栄養学専攻	男	40	80	6	7	13	80.0%
	女			28	23	51	
	計			34	30	64	
子ども生活専攻	男	60	120	1	1	2	30.8%
	女			12	23	35	
	計			13	24	37	

▶ 卒業者数、進学者数、就職者数（過去5年間）

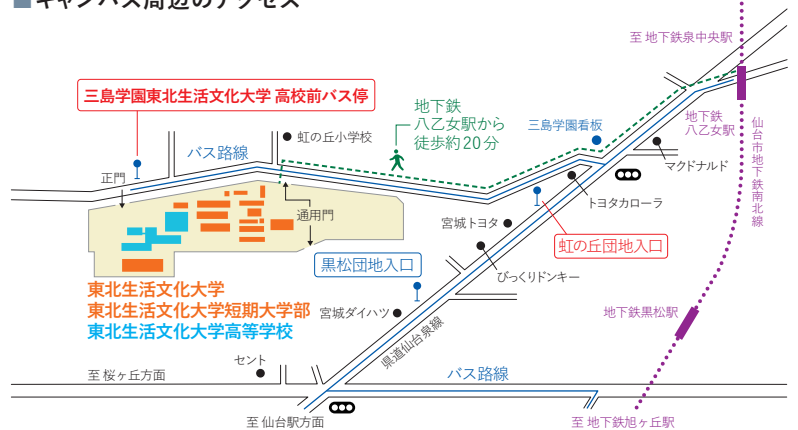
各年度5月1日現在

学科・専攻			令和5年度			令和4年度			令和3年度			令和2年度			令和元年度		
			卒業者数 (学位授与数)	進学者数	就職者数	卒業者数 (学位授与数)	進学者数	就職者数	卒業者数 (学位授与数)	進学者数	就職者数	卒業者数 (学位授与数)	進学者数	就職者数	卒業者数 (学位授与数)	進学者数	就職者数
生活文化学科	食物栄養学専攻	男	2	1	1	1	0	1	5	0	5	2	0	2	4	0	3
		女	20	2	16	29	3	23	19	3	15	23	2	19	22	3	16
		計	22	3	17	30	3	24	24	3	20	25	2	21	26	3	19
	子ども生活専攻	男	4	0	4	1	0	1	5	0	5	4	0	4	5	0	5
		女	25	0	25	30	0	29	35	1	32	41	0	37	50	1	48
		計	29	0	29	31	0	30	40	1	37	45	0	41	55	1	53
計	男	6	1	5	2	0	2	10	0	10	6	0	6	9	0	8	
	女	45	2	41	59	3	52	54	4	47	64	2	56	72	4	64	
	計	51	3	46	61	3	54	64	4	57	70	2	62	81	4	72	

■ 仙台駅方面からのアクセス



■ キャンパス周辺のアクセス



仙台駅前からバス利用の場合

- **西口バスプール4番乗り場【宮城交通バス】**
(県庁市役所経由)
「虹の丘団地(キャンパス)」行き
「泉中央駅(虹の丘・みずほ台経由)」行き
▼ 約25分
「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車(片道350円)
- **西口バスプール6番乗り場【宮城交通バス】**
(県庁市役所経由)
「富谷営業所」行き
「向陽台団地」行き
「明石台団地」行き
「松陵ニュータウン(免許センター経由)」行き
「鶴が丘ニュータウン(住宅前経由、免許センター経由)」行き
「東北学院大学泉キャンパス」行き
「新富谷ガーデンシティ」行き
「八乙女駅・黒松二丁目経由、虹の丘団地入口経由【市バス】」行き
▼ 約25分
「虹の丘団地入口」下車、徒歩約10分(片道330円)

地下鉄南北線からバス利用の場合

- **八乙女駅2番乗り場【宮城交通バス】**
「仙台駅前(みずほ台・虹の丘経由)」行き
▼ 約10分
「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車(片道170円)
- **八乙女駅入口【宮城交通バス】**
「仙台駅前(みずほ台・虹の丘経由)」行き
▼ 約10分
「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車(片道170円)

経路・運賃等は変更となる場合があります。
詳しくは宮城交通バスのホームページにてご確認ください。
宮城交通バス / <http://www.miyakou.co.jp/>

